



## 「共育」～ともに育つ学校づくりを目指して～

校長 浮ヶ谷 優美

ご入学、進級おめでとうございます。新入生 83 名を迎え、全校児童 528 名、18 学級での令和8年度がスタートしました。今年度の学校経営のスローガンとして掲げたのは「共育～ともに育つ～」です。この言葉には、学校にかかわる全ての人——子ども、教職員、保護者、地域の皆さま——がそれぞれの違いや強みを認め合い、互いに学び合いながら成長していく姿を大切にしたいという願いが込められています。学校は子どもだけが成長する場ではなく、大人もまた学び続け、支え合うことでよりよい教育環境をつくり上げていく場所です。皆さまとともに歩む今年度が、その理念を形にしていく一年となることを願っています。

その実現の鍵となるのが「対話」です。さまざまな立場や視点に触れ、思いや考えを言葉にし、丁寧に伝え合うことは、人と人との理解を深め、信頼を築く上で欠かすことができません。子ども同士の対話、教職員同士の対話、家庭と学校の対話、そして子どもを中心に据えた地域との対話。どれも学校を支える大切な力です。今年度は、学校運営のあらゆる場面で対話の質を高め、声を出しやすい雰囲気づくりや、意見の違いを受けとめられる土壌づくりを意識して進めてまいります。対話から生まれる「合意形成」は、みんなで納得して前に進む力となり、よりよい学校づくりの基盤となると信じています。

一人ひとりが大切にされ、互いに育ち合う学校——これは私たちの願いであると同時に、社会が求めている学校の姿でもあります。子どもたちにとって、「自分はここにいていい」「安心して挑戦できる」と心理的安全性が保たれ居心地の良さを実感できる居場所であること。教職員にとっては、失敗を恐れずにアイデアを出し合い、学び続けることで、子どもによりよい学びを届けられる職場であること。保護者・地域の皆さまにとっては、学校に気軽に足を運びたくなり、子どもたちの姿を温かく見守りたくなるような場であること。こうした姿を皆さまとともにつくることこそ、「共育」の実現であると考えています。

そして、今年度も学校支援本部の支援の下、引き続き体験的な学びや地域との連携にも力を注いでまいります。本物に触れ、自分の目で見て、心で感じる経験は、子どもたちの意欲や探究心を伸ばし、学びに深みを生み出します。地域の皆さまの知恵や経験、人との出会いが、子どもたちの世界を広げる大きな財産になっています。これまで築いてきた学校と地域との結びつきをこれからも大切に育み、「共に育つ」一年が、一人ひとりにとって実り豊かであたたかいものとなるよう、皆様と力を合わせて前進してまいりたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### 令和8年度も安全な登下校を！

新年度が始まりました。1年間、安全な登下校となるようご家庭でもご協力をお願いいたします。

- ①正しい通学路で登校してください。安全マップを参考に危険箇所の確認もお願いします。
- ②登校時刻は8時15分から8時25分です。早く登校しすぎないように、ご協力をお願いします。
- ③欠席・遅刻は8時までにテトルで連絡、遅刻・早退は教室まで保護者の方が送り迎えをしてください。
- ④忘れ物に気づいても取りに帰りません。詳細は今後配布予定の「よくわかる八成小学校」をご覧ください。

今年度から1校時の開始時刻が5分早まります。8時25分には、朝の仕度を終えて、着席して朝の会を迎えられるよう、今一度、お子さんと登校時刻のご確認をよろしくお願いいたします。